

令和8年度 初任者研修に係る校外研修「授業参観」(小・中)

令和8年6月18日(木)開催 竹田教育事務所

6月18日(木)に竹田市立竹田小学校・竹田中学校にて、竹田教育事務所管内の初任者研修を行いました。講義・演習、授業参観やグループ協議を通して授業づくりや指導の在り方等について理解を深め、指導力の向上を図りました。

<研修内容>

(1) 講義・演習

(2) 授業参観(小)(5年:国語)
衛藤 沢美 指導教諭

(3) 研究協議①
「参観授業から学ぶ指導技術」

(4) 授業参観(中)(2年:理科)
梶原 裕樹 指導教諭

(5) 研究協議②
「参観授業から学ぶ指導技術」

(6) 研究協議③
「授業実践における課題や工夫の交流」

講義・演習／授業参観



R8改訂版「新大分スタンダード」のポイントについて確認をし、9月以降の授業に係る単元構想を練りました。

(小) 5年生 国語
「山場での変化について考えよう」
(物語文「世界でいちばんやかましい音」)



(中) 2年生 理科
「二酸化炭素中と空気中のマグネシウムの反応を比較して、共通点と違いを説明しよう」

研究協議①・②・③

*授業参観で学んだこと等をグループごとに協議・まとめを行い、発表しました。



授業者の先生方による児童生徒の実態に合わせた授業の工夫や構想が大きな学びとなりました。

*授業実践における自身の課題や工夫していることなどを交流し、再度、9月以降の単元構想を練りました。



受講者の振り返り

- 子どもたちが自分の考えを相手に伝え、互いの考えを聞き合うことで、学びが深まっていました。授業者の先生方の良いところを、自分も真似して実践につなげていきたいと思えます。まずは、目の前にいる子どもたち一人ひとりに丁寧に向き合いながら、より良い授業や学級づくりができるように、日々の実践を大切にしていきたいと思えます。
- 授業参観後のグループ討議では、自分では見取ることができなかった視点からの気づきを多く得ることができました。同じ授業を観ていても、他校の先生方や異なる教科の先生方の視点は新鮮で、細かな授業の仕掛けや子どもの変容に気づかされました。